作成番号:0313

==

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

==

号数:2025-313

****

内容:心臓専門医の定期診察は心不全患者の死亡リスクを低下させる

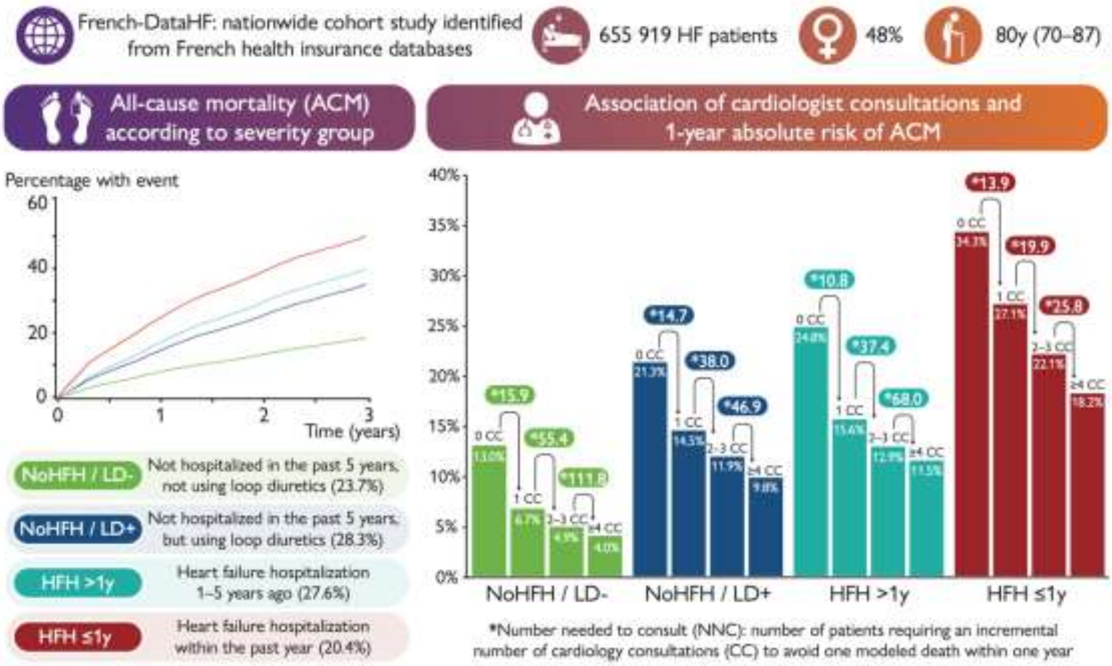
出典:Cardiologist follow-up and improved outcomes of heart failure: a French nationwide cohort. European heart journal. 2025 May 18; pii: ehaf218.

https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40382685/

****

心不全(HF)とは、心臓のポンプ機能が低下し体が必要とする酸素や栄養を十分に送り届けられない状態で、HF を治すことはできないが、適切な治療を行えば症状を何年もコントロールできることが多い。ナンシー大学病院(フランス)臨床研究センターの研究者は、HF 患者の予後と管理を利尿薬の使用および HF による入院歴(HF hospitalization;HFH)という基準で分類して調査し、その研究結果は、「European Heart Journal」に 5 月 18 日掲載された。

過去5年間にHFの診断を受け2020年1月時点で生存が確認されたフランスのHF患者655,919人(年齢中央値80歳、女性48%)が、1)過去1年以内のHFHあり(20.4%)、2)1～5年前にHFHあり(27.6%)、3)HFH はないがループ利尿薬の使用あり(28.3%)、4)HFH もループ利尿薬の使用もない(23.7%)、の 4 群に分類された。2020 年に循環器専門医の診察を受けた対象者の割合は 59%で、全死亡リスクは、「HFH もループ利尿薬の使用もない」群と比較して、「HFH はないがループ利尿薬の使用あり」群で 1.61 倍、「1～5 年前に HFH あり」群で 1.83 倍、「過去 1 年以内の HFH あり」群で 2.32 倍であった。また、全死亡リスクは、2019 年に循環器専門医の診察を受けなかった群を基準とした場合、1 回の受診で 24%、2～3 回の受診で 31%、4 回以上の受診で 38%の低下という具合に、受診回数が増えるほど有意に低下した。

心不全患者の 5 人に 2 人は、循環器専門医の診察を定期的に受けておらず、専門医の診察を年に 1 回受けている HF 患者では翌年の死亡リスクが 24%低下することが示された。安定して見える HF 患者においても、専門医によるフォローアップが潜在的に重要である。

Prognostic value of heart failure stratification, and cardiologist follow-up in a nationwide cohort